

# CAMD セミナー

(Center for Development of Advanced Medicine for Dementia )

ショウジョウバエモデルを用いた微生物と宿主の相互作用メカニズム解析：微生物感染依存的な自然免疫活性化から  
感染非依存的な活性化メカニズムの解明へ

金沢大学 医薬保健研究域 薬学系

**倉石 貴透 先生**

平成29年2月3日(金) 午後4時～

第1研究棟 2階小会議室

微生物感染から身を守るための生体防御機構として、すべての多細胞生物は自然免疫系を有している。ショウジョウバエは自然免疫の分子機構を解析する上で優れたモデル生物であり、種を超えて保存された自然免疫に関わる遺伝子の同定と機能解析に貢献してきた。 今回のセミナーでは、Toll 受容体のアダプター分子である MyD88 の局在制御に関する新規 E3 リガーゼ Sherpa の同定と、微生物感染に依存しない新たな自然免疫誘導実験系について発表して議論を行いたい。